

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	てあてる	事業所番号	2711800801
住 所	大阪市西区西本町3-1-14 松屋レジデンス1階	管理者名	村上 恵造
電話番号	06-4391-3393	対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容> 活動場所 てあてる事業所 実施日程 令和7年2月4日 実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要 金銭管理の基本 ～安心して働くために～ 利用者数 等 10名	<活動の様子> 活動の様子の写真 成果物の写真 活動内容の追加コメント  研修資料を作成し、研修を行いました。 
<目的> 利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい 日常生活の安定を支えるための力を育てる 金銭管理は、食事・住まい・健康など生活の基本を整える土台です。自分に必要なものを優先して購入できる力を身につけ、安定した生活を送れるようにすることを目指します。 利用者にとってのメリット 自立した生活に一步近づく、安心感と自信を持てるようになる、トラブルや不安を減らすことができる	
<成果> 本研修の実施により、金銭管理に対する利用者の理解度と関心が向上し、自立生活に向けた具体的な一歩として成果が見られました。特に、「お金の記録をつけること」「支援員へ相談すること」の重要性を実感したという声が多く、生活トラブルの予防にも一定の効果があったと評価できます。 ただし、一回の研修だけでは身につけにくい面もあるため、今後は継続的なサポートや反復学習の必要性が見えてきました。	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

金銭管理というテーマは、どうしても「難しそう」「自分には無理」と感じやすいものですが、今回の研修後は、何人もの利用者さんが「やってみようかな」と前向きな言葉を口にしてくれました。中には、帰り道に「今日は買い物やめて帰ります」と行動に移していた方もいて、研修の力を実感しました。こうした“すぐにできる一歩”が本人の自信につながると感じています。私たち支援員も、日々の関わりの中で研修内容を活かしていきたいと思います。

利用者からの意見・評価

利用者A・・・これまで、お金が手元にあるとすぐ使ってしまうことが多く、月の後半には困ることもありました。研修では「必要な支出」と「そうでない支出」を分けて考えることの大切さを学び、自分でも少しずつ見直していきたいと思います。最近では買い物の前に「これは本当に必要か？」と立ち止まって考える習慣が付き始めています。研修を受けたことで、自分の生活に責任を持つという意識が高まりました。
利用者B・・・研修を受ける前は、もらったお金はすぐ使ってしまうのが当たり前で、「お金をためるってなに？」という感じでした。コンビニでジュースを毎日買うのが習慣で、特に意識していませんでした。研修で「毎日の小さな出費が積もると大きくなる」と聞いて、はっとしました。それから、家から水筒を持ってくるようにしたら、1週間で500円も浮きました。「ちょっと工夫するだけで変わる」と実感し、自信ができました。